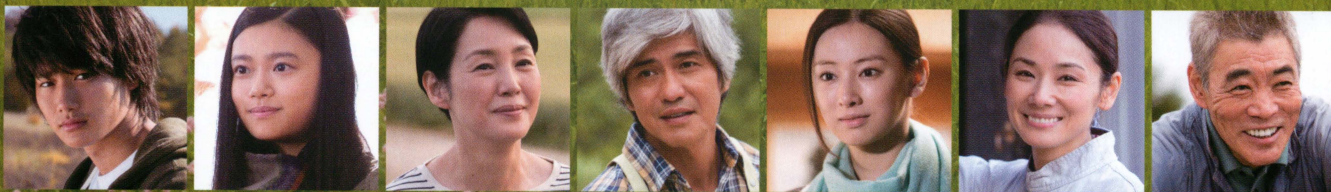


大切な人へ  
のこしたいものは、  
何ですか。

# 愛を積むひと

佐藤浩市 樋口可南子

「日本で最も美しい村」北海道・美瑛を舞台に、夫婦とそこに集う人々を優しく映し出す感動作。



佐藤浩市 樋口可南子 北川景子 野村周平 杉咲花 吉田羊 柄本明

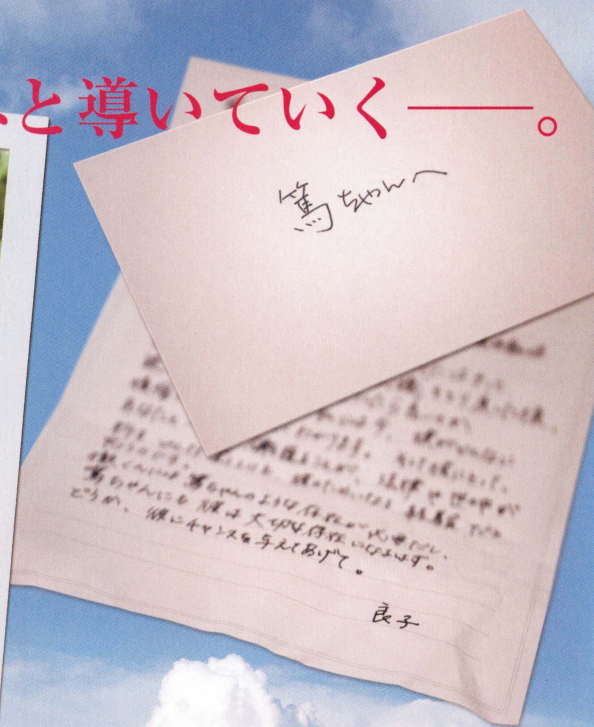
原作：「石を積むひと」エドワード・ムーニー・Jr.（小学館文庫刊） 監督：朝原雄三 脚本：朝原雄三 福田卓郎

音楽：岩代太郎 劇中歌：「スマイル」ナット・キング・コール

制作・配給：アスミック・エース／松竹 制作プロダクション：松竹撮影所 製作：「愛を積むひと」製作委員会

6月20日(土) ロードショー

亡き妻から届いた手紙。  
それが、彼を新たな人生へと導いていく——。



第二の人生を大自然に包まれた美しい土地で過ごそうと、北海道に移り住むことにした夫婦、篤史と良子は、かつて外国人が住んでいた家で暮らし始める。良子は篤史に家を囲む石堀作りを頼んだが、以前から患っていた心臓の病を悪化させて、この世を去ってしまう。

悲しみにくれる篤史のもとに、ある日、良子から手紙が届いた。驚く篤史。そして、次々と見つかる手紙に導かれるように、篤史は周囲の人々の人生に関わっていく。また、長年疎遠になっていた娘、聡子と再会し……。

## はじめて知る、妻の《家族への想い》 北海道を舞台にした新たな感動作誕生

2004年に出版され、翻訳本としては異例のロングセラーを続けているエドワード・ムーニー・Jr. 著の「石を積むひと」が舞台をアメリカから日本に移し新しい物語として映画化されます。主人公の篤史を演じるのは日本を代表する俳優、佐藤浩市、良子役には7年ぶりの待望の映画出演となる樋口可南子。二人の一人娘・聡子役に北川景子のほか、野村周平、杉咲花、吉田羊、そして柄本明と、ベテランから躍進目覚ましい若手まで、豪華なキャスティングが実現しました。監督は「釣りバカ日誌」シリーズ、「武士の献立」でメガホンをとった、巧みな演出で定評のある朝原雄三。

撮影は「日本で最も美しい村」連合第1号に認定された北海道美瑛町にオープンセットを建てて1年にわたり敢行、色鮮やかな丘陵や日本百名山のひとつでもある十勝岳など、大自然の四季の移ろいとともに、そこに住む人々のドラマを映し出します。長年連れ添ってきた夫婦が、これからの第二の人生をどう過ごすのか、連れ合いを亡くしたとき、どのように立ち直り、一歩前へ進んでいくのか。そして人生の希望・豊かさとは？今日の私たちに寄り添い、問いかける新たな感動作が誕生します。



6月20日(土) 全国ロードショー